

JARL 東京都支部コンテスト委員会ニュース(第 3 号)

(コンテスト提出書類では、このような点にご注意を!!)

これまで、JARL 東京都支部主催の各種コンテストに多くの方々のご参加をいただき感謝申し上げます。

皆様からのコンテスト提出書類の審査において、規約に沿わず、失格になった局も多々見受けられます。また、失格にならずとも点数計算上でも減点になっている局もあります。

今回のニュースでは、**書類の提出前には是非再度ご確認ください点**を掲載いたしました。これらをご参考に、皆様にとって実りあるコンテストにしていだけたらと思います。

1. 「コンテストの名称」を間違えていませんか？

- JARL ホームページの電子ログ作成機能の選択肢の一つである「その他のコンテスト」
 - 開催日が近い「ALL JA コンテスト」「全市全郡コンテスト」「電信電話記念日コンテスト」
- 等、JARL 東京都支部主催でないコンテスト名称になっていないか、今一度ご確認ください。

東京都支部主催コンテストは、すべて「東京」から始まります。

- 東京コンテスト
- 東京 CW コンテスト
- 東京 UHF コンテスト

2. 「個々の交信の得点」を間違えていませんか？

東京都内局との交信 (SWL は受信。以下同じ) を「1 点」で計上していないか、今一度ご確認ください。

2 点で計上できるところを 1 点で計上するのは、もったいないです。

東京都支部主催コンテストは、都内局との交信は「2 点」、都外局との交信は「1 点」です。

3. 「コンテストナンバー」は、規約通り正しく記入されていますか？

- コンテストナンバーとして JCC ナンバーを記載
(例: 東京都八王子市の場合、599**002** とすべきところを、599**1002**)
- コンテストナンバーとして、その運用地の地域名を記載
(例: 東京都八王子市の場合、599**002** とすべきところを、599 **八王子市**)
- 空中線電力コードを付加

(例:東京都八王子市の場合、599**002** とすべきところを、599**002M**)

等、東京都支部主催コンテストの規約通りでないコンテストナンバーを記載していないか、今一度ご確認ください。

東京都支部主催コンテストのコンテストナンバーは、3桁または2桁の**数字のみです。空中線電力コードは付きません。**

- 都内は3桁

市部:八王子市(002)～西東京市(030)、区部:千代田区(101)～江戸川区(123)、
町村部:瑞穂町(201)～奥多摩町(204)、島部:大島町(401)～小笠原村(431)

- 都外は2桁

北海道(01)～沖縄県(47)

【注】北海道の支庁(振興局)ナンバーは、東京都支部主催コンテストでは使いません。

なお、来年度(2027年5月3日の東京コンテスト)から、コンテストナンバーの一部見直しを行うよう、規約を改正する計画です。

新しい規約は2027年2月頃発表しますので、是非ご確認ください。

4. 「コンテストの提出書類」は、JARL形式(原則 Version R1.0)ですか？

- ZLOG や HAMLOG のデータをそのままテキストにして送られる方
- そのまま印刷すると JARL 紙ログの体裁になるような形式のテキストで送られる方
- Cabrillo 形式で送られる方
- JARL 形式でないサマリーシート部分の最初と最後に<SUMMARYSHEET
VERSION=R1.0>、</SUMMARYSHEET>タグを付けて、JARL 形式を装ったテキストを送られる方

等、JARL 形式でない書類で提出される方が見受けられます。

「書類不備」になってしまいます。もったいないです。

5. ログシート部分には、個々の交信ごとに、得点(新マルチの場合はマルチも)の記載がありますか？

得点や新マルチの記載が無いログシートが散見されます。

記載が無いと、得点やマルチが計上できず、総得点に反映されないばかりか、「書類不備」になってしまう場合があります。もったいないです。

また、新マルチでないマルチにも、マルチの番号が書かれている書類が散見されます。番号を書かれても計上されません。

新マルチ以外は、マルチの欄に番号ではなく「-（ハイフン）」をご記入ください。

6. 移動運用（無線局免許状に記載された常置場所以外の場所からコンテスト参加された局）の場合、

● コールサインにポータブル表示はありますか？

● 移動運用地がサマリーシート部分に記載されていますか？

● ポータブル表示～移動運用地～コンテストナンバー間の整合性がありますか？

- 移動運用の場合は、必ずコールサインにポータブル表示を付けてください。

（例：常置場所が北海道の JR8QSO 局が、東京都在住でそこから運用した場合、JR8QSO/I と記載。沖縄県に移動運用した場合、JR8QSO/6 または JR8QSO/JR6 と記載）

- 移動運用の場合は、サマリーシート部分の「運用地（＜OPPLACE＞）」欄にその場所（都内局は市町村名まで、都外局は道府県名まで）を記載してください。

（例：常置場所が北海道の JR8QSO 局が、東京都在住でそこから運用した場合、運用地欄には東京都の区市町村名を記載。沖縄県に移動運用した場合、沖縄県と記載）

- 運用地の記載がない場合は、サマリーシート部分の「住所（＜ADDRESS＞）」欄に記載された場所からの運用として扱います。

（例：常置場所が北海道の JR8QSO 局が、東京都在住の場合、住所欄には東京都の住所を記載。沖縄県に移動運用した場合でも、住所欄には東京都の住所を記載）

- ログシート部分に記載された送信コンテストナンバーと、運用地（運用地の記載がない場合は住所）のコンテストナンバー間に整合性が無いと、その交信は無効となり、得点やマルチが計上できません。

整合性があるかどうか、提出前に今一度ご確認ください。

7. 「ヤング」で参加の場合、サマリーシート部分の「意見（＜COMMENTS＞）」欄に、コンテスト開催当日現在の年齢が記載されていますか？

記載ない場合は、一般部門へのエントリーとして扱います。

8. そして、書類が完成したときに……

提出前、最後にもう一度、書類の内容を点検してからご提出ください。

書類（電子ログ）の提出先は、JARL 東京都支部ホームページの「コンテスト電子ログ提出」フォームです。

電子メールでの提出はできません。締切日までに「コンテスト電子ログ提出」フォームからの提出（または紙ログでの提出）がないと、不受理扱い（最初からコンテストに参加していない）になってしまい、もったいないです。

もし、提出後に誤りに気付いたときは、**提出締切日前なら何度でも、同じコールサインで再提出できます**（締切前の最後に提出された書類を、審査の対象とします）。

コンテスト委員会への、再提出の事前申し出や事後報告は不要です。

ただし、コールサインを間違えた場合の再提出では、ご連絡が必要な場合があります。

- ポータブル表記の間違い（例：**JR8QSO/I** とすべきところ、**JR8QSO** で提出してしまったので、**JR8QSO/I** で再提出する場合は、連絡不要です。
- ベースコールサインの間違い（例：**JR8QSO/I** とすべきところ、**JR7QSO/I** で提出してしまったので、**JR8QSO/I** で再提出する場合は、再提出後に**必ず**ご連絡ください。ご連絡には、JARL 東京都支部ホームページの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。